

こころとからだに、
おいしいものを。



2024年10月17日
東京地下鉄株式会社
ガイドードリンク株式会社
日揮ホールディングス株式会社

東京メトロ×ガイドードリンク 「Fry to Fly Project ラッピング自販機」を東京メトロ茗荷谷駅に設置

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）と、ガイドードリンク株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：中島 孝徳、以下「ガイドードリンク」）は、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長 CEO：佐藤雅之、以下「日揮 HD」）が提唱・主導する Fry to Fly Project における取組みの一環として「Fry to Fly Project ラッピング自販機」（以下、本自販機）を、10月16日（水）に東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅に設置いたしました。



ご家庭や店舗などで発生する廃食用油という国内資源を原料とする SAF（※1）を用いて航空機が飛ぶ世界を実現する Fry to Fly Project の取組みに東京メトロ、ガイドードリンクが賛同し、自動販売機を通じて広く社会に発信し取組みの輪を広げるために本自販機を企画するとともに、Fry to Fly Project のシンボルデザインを全面にラッピングしました。東京メトロ、ガイドードリンク、ならびに日揮 HD の3社は、この機会に、駅をご利用される方々に Fry to Fly Project を知っていただき、持続可能な社会の実現に向けた取組みの理解促進につながるよう期待しております。

Fry to Fly Project の参加企業である東京メトロとガイドードリンクは、今後も本自販機を設置する取組みの拡大を検討し、Fry to Fly Project の輪を広げるとともに、廃食用油を原料とする国産 SAF のサプライチェーンの構築を加速し、「脱炭素・循環型社会の実現」に貢献してまいります。

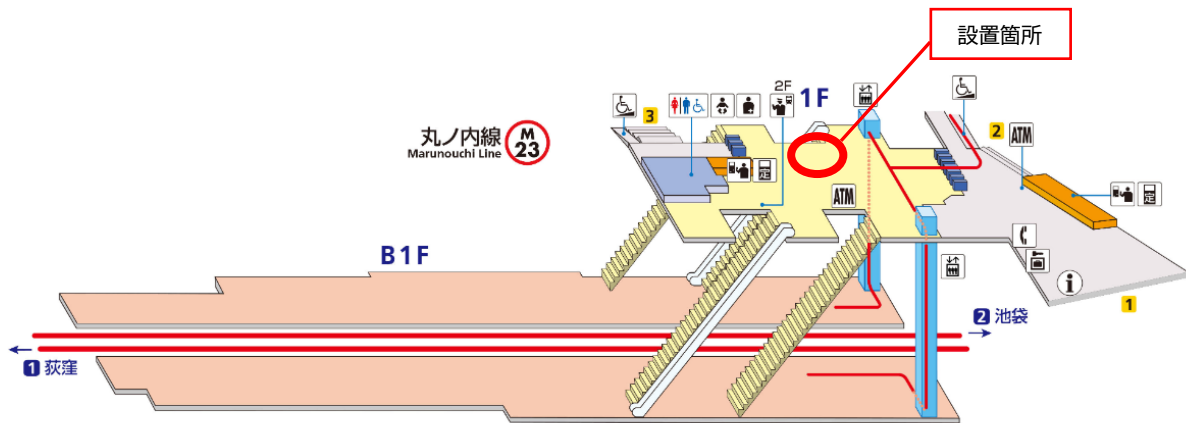
< 「Fry to Fly Project ラッピング自販機」 概要 >

1 設置日

2024年10月16日(水) 終車後

2 設置場所

丸ノ内線茗荷谷駅 改札内



3 設置台数

1台

< 参考 >

「Fry to Fly Project」について

1 概要

Fry to Fly Project とは、家庭や店舗などで発生する廃食用油という国内資源を原料とする SAF (Sustainable Aviation Fuel) で、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトであり、日揮 HD が事務局を務めています。設立主旨に賛同する参加企業・自治体・団体が相互に連携しつつ、家庭や店舗等から排出される廃食用油の収集を促進するとともに、自治体との連携により廃食用油の SAF への活用に関する教育活動を実施するなど、日本国内において脱炭素化に向けた資源循環の促進に積極的に参加できる機会の創出を目指しています。

Fry to Fly Project 特設ページ：<https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/initiative/fry-to-fly/>

2 各社の取り組み

・東京メトロは、廃食用油の SAF への再利用を通じて脱炭素社会の実現を目指す取組みとして、昨年12月に Fry to Fly Project に賛同・参加 (※2) しており、これまでグループ会社である株式会社メトロプロパティーズが運営する飲食店舗等の廃食用油を提供してきました。今年4月からは社員食堂等を運営するグループ会社である株式会社メトロライフサポートの5拠点からの提供も開始しました。

また、鉄道事業者として豊富な顧客接点を活かし、東京メトロをご利用いただくお客様に、SAF の重要性や本プロジェクトを車内ビジョン・駅コンコースビジョン等を通じて発信する取組みを進めてまいりました。

・ダイードリンコは、Fry to Fly Project に昨年7月より参画し、プロジェクトにご賛同いただける企業等への普及活動に取り組んでおります。

・日揮HDは、Fry to Fly Project を主導し、プロジェクト参加団体数は今年9月時点で160に上ります。また、日揮HDがコスモ石油株式会社、株式会社レボインターナショナルと共同で設立した合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY は日本初となる大規模国産 SAF 製造事業者として大阪府堺市に SAF の製造プラントを建設中です。SAF の製造プラントは2024年内に完工、2025年初頭には国産 SAF の供給開始を見込んでいます。なお、日揮HDらが取り組む SAF の製造事業は NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）より採択※を受けた助成事業です。

※NEDO ホームページ：https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html

※1 SAF (Sustainable Aviation Fuel) とは、化石燃料以外を原料とする持続可能な航空燃料で、原料が100%の廃食用油の場合、原料収集からSAFの製造・燃焼までのサプライチェーン全体で、従来の航空燃料と比較してCO₂排出量を約80%削減することが可能です。実際に回収された廃食用油がSAFとして利用されるのは2025年以降の計画であるため、それまでの間はバイオディーゼルなどの原料として利用されます。

※2 <https://www.tokyometro.jp/news/2023/216911.html> をご確認ください。